

◎日本国とオーストリアとの間の貿易に関する交換公文

(略称) オーストリアとの貿易取極

昭和四十九年 十二月 十八日 ウィーンで  
昭和四十九年 十二月 十八日 効力発生  
昭和五十年 一月 十八日 告示

(外務省告示第九号)

目次

ページ

オーストリア側書簡	一九
(1) 一九六六年の取極の一九七五年への適用	一九
(2) ガット第三十五条の援用撤回	一九
(3) 繊維製品分野取引の国際貿易に関する取極に従う解決	一九
オーストリアとの貿易取極	

オーストリアとの貿易取極

日本側書簡

.....二二

日本国とオーストリアとの間の貿易に関する交換公文)

(オーストリア側書簡)

(訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本官は、オーストリア政府の代表者と日本国政府の代表者との間でウィーンにおいて最近行われた会談に言及し、同会談の結果到達した次の了解を確認する光榮を有します。

(1) 千九百七十五年十二月三十一日までの間オーストリアと日本国との間の貿易関係は、千九百六十六年十一月四日付けの交換公文に盛り込まれた取極(千九百七十年十二月二十三日付けの交換公文により改訂された「オーストリア輸入品目表」を含む)の規定に基づいて引き続き規律される。

(2) オーストリアは、関税及び貿易に関する一般協定第三十五条の日本国に対する援用をできる限り速やかに撤回する意図を有する。この取極は、日本国に対する第三十五条の援用の撤回が、千九百七十五年十二月三十一日以前に行われた場合には、その撤回の日に効力を失う。

(3) 綿製品を含む繊維製品の分野においては、繊維製品の国際貿易に関する取極の規定に従つて、解決が求められる。

本官は、貴官が前記のことを貴国政府に代わつて確認されれば幸いであります。

(Austrian Letter)

Vienna, 18 December, 1974

Sir,

I have the honour to refer to the discussions which have recently taken place in Vienna between the representatives of the Austrian and Japanese Governments and to confirm the following understanding reached as a result of the discussions:

1. Until 31 December, 1975, the trade relations between Austria and Japan shall continue to be regulated on the basis of the provisions of the arrangement embodied in the letters exchanged on 4 November, 1966, including the "Austrian Import List", as amended by the letters exchanged on 23 December, 1970.

2. Austria has the intention to withdraw as soon as possible the invocation of Article XXV of the General Agreement on Tariffs and Trade against Japan. If the disinvocation of Article XXV with respect to Japan is effected before 31 December, 1975, the present arrangement shall cease to be valid on that date.

3. In the field of textiles including cotton textiles a solution will be sought in accordance with the provisions of the Arrangement regarding International Trade in Textiles.

I shall be grateful, if you would confirm the foregoing on behalf of your Government.

オーストリア側書簡

一九六六年の取極  
の一九七五年への適用

ガット第三十五条の援用撤回

繊維製品の分野の国際貿易に関する取極に決

オーストリアとの貿易取極

110

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに貴官に向かつて敬意を表します。

千九百七十四年十二月十八日にウィーンで

連邦通商産業省通商局長代理 ヨーゼフ・メイسل

(Signed) Josef MEISL  
Acting Director General  
Federal Ministry for  
Trade and Industry

在オーストリア日本国大使館公使 佐々木正賢殿

Mr. Seiken SASAKI  
Minister  
Embassy of Japan  
in Austria

Accept, Sir, the assurances of my high consideration.

(訳文)

(日本側書簡)

書簡をもつて啓上いたします。本官は、本日付けの貴官の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(オーストリア側書簡)

本官は、更に、前記のことを本国政府に代わつて確認する光栄を有します。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに貴官に向かつて敬意を表します。

千九百七十四年十二月十八日にウィーンで

在オーストリア日本国大使館公使 佐々木正賢

連邦通商産業省通商局長代理 ヨーゼフ・マイスル殿

(Japanese Letter)

Vienna, 18 December, 1974

Sir,

I have the honour to acknowledge the receipt of your letter of today's date which reads as follows:

"(Austrian Letter)"

I have further the honour to confirm the foregoing on behalf of my Government.

Accept, Sir, the assurances of my high consideration.

(Signed) Seiken Sasaki

Minister  
Embassy of Japan  
in Austria

Dr. Josef Meisl  
Acting Director General  
Federal Ministry for  
Trade and Industry  
Vienna

(参考)

この取極は、一九六六年の日澳貿易取極（昭和四十一年二国間条約集及び条約集第一六五三号参照）の規定を引き続き適用することを定めたものである。